夕護 NAGO

ガイド



IXIXIXIXIXIXIXIXIXIXIX

文化芸術の花咲いわたり 美ら島おきなわ文化祭2022 「第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭」

> Beethoven Symphony No.9

名護に響く歓喜の歌

©Mika Oizumi

指揮 中川 賢一

L.v.ベートーヴェン交響曲第9番ニ短調作品125 「合唱付き」第4楽章

2022.11.23 | wed|

名護市民会館大ホール 開演17:00 (開場16:30)

| 入場料 | 大人 ¥1,000 小中高生 ¥500 (前売り・当日共)|| 全席自由 ※障がい者割有

第一部 【スペシャルステージ】

ソプラノ:大森 智子 ピアノ:中川 賢一 出演 ピアノデュオ デュエットゥ かなえ&ゆかり×原 寛(プロジェクションマッピング)

> 第二部 【名護第九演奏会】 名護市民の歌

100円以り肌

L.v.ベートーヴェン交響曲第9番ニ短調作品125 「合唱付き」第4楽章

指揮:中川 賢一 管弦楽:琉球交響楽団

ソリスト:ソプラノ♪大山 美雪 アルト♪宮城 里美 テノール♪与儀 巧 バリトン♪前川 佳央

♪名護第九合唱団(市民参加のみなさん)

友情出演:館林第九合唱団 (群馬県館林市・名護市友好都市) 賛助出演:名護ジュニアオーケストラ

主催:文化庁/厚生労働省/沖縄県/沖縄県教育委員会/名護市/名護市教育委員会/美ら島おきなわ文化祭2022 沖縄県実行委員会 美ら島おきなわ文化祭2022 名護市実行委員会/芸術鑑賞体験事業実行委員会

「名護第九演奏会」名護に響く歓喜の歌…

「名護第九演奏会」では、一般公募をかけた市民を中心に、約90名の合唱団が熱心に練習を重ねています。今回は名護市と友好都市を 結ぶ「館林第九合唱団」が友情出演し、総勢100名余の大合唱団として演奏会に臨みます。

管弦楽は、地元沖縄県を拠点に活躍する「琉球交響楽団」、指揮は、全国で活躍する中川賢一氏、ソリストは、県内外で活躍する北部出 身等の著名な演奏家を迎え、名護に響く歓喜の歌で夢と感動を皆様にお届けします。また、第一部では、名護市でコンサートや学校など でのアウトリーチを行い、名護市と交流の深い名護大好きアーティストの皆さんによるスペシャルステージで、更に演奏会を盛り上げてい ただきます。



桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同時に指揮も学ぶ。卒業後、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科最 高課程、特別課程を首席修了。1998年帰国後は、ソロ、室内楽、指揮などで幅広く活動。 指揮者としては、東京 室内歌劇場、東京フィル、広響、仙台フィル他と共演。(一財)地域創造の登録アーティストを務め、全国各地で アウトリーチ活動、ワークショップやコンサートを行う一方、地元参加型の舞台作品制作などに指揮者・編曲者と して携わる。また、現代音楽を初めて聞く方へのレクチャーコンサート、ワークショップも積極的に行い現代音楽 の普及にも務めている。子供向けのプロジェクトも多く、未就学児参加可能の演奏会、幼児向けの音楽会のプロ デュースも数多く行っている。2009年3月「名護の愛するコンサート」ではピアニスト・指揮者として出演。それ以 後、名護が大好きなアーティストとして度々名護市を訪問し、コンサートやアウトリーチ、ワークショップを行った。 中川 賢一 好物は島らっきょう&沖縄そば(てびちそば)。

特定非営利活動法人琉球交響楽団



2001年3月 「琉球交響楽団設立コンサート」を開催。

定期演奏会や小中高等学校での音楽鑑賞会の他、0歳児からのコンサート、琉球芸能とのコラボレーション、沖縄県内離島公演を積極 的に行っている。

また、第三回、第四回世界のウチナーンチュ大会、沖縄本土復帰30周年、40周年、第46回米州開発銀行(IDB)総会など、政府や沖縄 県からの依頼演奏も多数行っている。

2016年大友直人が音楽監督に就任。2017年、 全国共同制作 プッチーニ:歌劇「トスカ」沖縄公演において管弦楽演奏を務め好評を博 した。2021年3月に創立20周年を迎え、サントリーホールにて初めての東京公演を開催。

聴衆とのふれあいを大切に、県民に親しみ愛され、国際色豊かな沖縄県の顔となる交響楽団を目指し活動している。

2005年ファーストアルバム「琉球交響楽団」、2020年セカンドアルバム「沖縄交響歳時記」をリリース。

₩ ソリスト ₩



ソプラノ/大山 美雪 沖縄県名護市出身







アルト/宮城 里美 テノール/与儀 巧 バリトン/前川 佳央 沖縄県東村出身 沖縄県金武町出身 沖縄県読谷村出身

(2)



第一部 スペシャルステージ 出演アーティスト



大森 智子



デュエットゥ



原寬

友情出演 館林第九合唱団



館林第九合唱団は、合唱活動を通して会員相互の親 睦、市民文化の発展に寄与することを目的とし、1986 年に発足しました。以来毎年12月に群馬交響楽団と 第九演奏会を開催し、33回目を迎えております。東京 芸術大学教授であった多田羅迪夫先生を音楽監督 に迎えて、現在は、同大学院を卒業した門下生が指導 者として加わるなど文字通り日本を代表する一流の声 楽家による発声やパート練習など丁寧に指導頂いてい

2016年から市内の小学校・中学校に講師を派遣して学 年単位で第九に参加していただく授業を行い、2019年 には大人の合唱団員と合同で総勢318名の圧倒的なパ ワーと美しいハーモニーで演奏会を開催しています。